日本セキュリティオペレーション事業者協議会(ISOG-J)活動紹介

2024.7.17

© 2024 ISOG-J

日本セキュリティオペレーション事業者協議会

Information Security Operation providers Group Japan(ISOG-J)

2008年設立、2024年7月現在67社加盟、およそ300人のメンバー
(親団体はJNSA。オブザーバーに総務省と経済産業省)

代表：武智 洋(日本電気株式会社)
副代表：阿部 慎司(GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社)
副代表：早川 敦史(GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社)
副代表：武井 滋紀(NTTテクノクロス株式会社)

セキュリティオペレーションガイドラインWG (WG1)	上野 宣(株式会社トライコーダ)
セキュリティオペレーション技術WG (WG2)	川口 洋(株式会社川口設計)
セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WG (WG4)	阿部 慎司(GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社)
セキュリティオペレーション連携 (WG6)	武井 滋紀(NTTテクノクロス株式会社)

このあとでこちらの最新の成果物を紹介させていただきます！

© 2024 ISOG-J

各WG紹介(HPから)

【WG1】セキュリティオペレーションガイドラインWG（2012年7月発足）

脆弱性診断事業者・脆弱性診断士から開発会社向けまでセキュリティ技術の向上に役立つガイドライン作成を主目的としたWGです。

WGリーダー

上野 宣　株式会社トライコーダ

成果物	Webシステム／Webアプリケーションセキュリティ要件書 Webアプリケーション脆弱性診断ガイドライン 脆弱性診断士（Webアプリケーション）スキルマップ&シラバス 脆弱性診断士（プラットフォーム）スキルマップ&シラバス 脆弱性診断士倫理綱領 GraphQL 脆弱性診断ガイドライン ペネトレーションテストについて 脆弱性情報開示のためのチートシート その他、アジャイル開発におけるセキュリティなどに取り組んでいる
検討テーマ	要求にマッチしたセキュリティ診断サービスを的確に効率よく選択できるように、ユーザ向けセキュリティ診断サービスの解説書を作成する。セキュリティ診断サービスを向上するために、サービスを提供している技術者のレベルを計ることが可能な指標について検討する。
リーダーの思い	本WGではWG参加者同士が積極的に情報交換をする場を提供したいと考えています。ご自身の経験や知見を活かしてみたい方のご参加お待ち致しております。

【WG2】セキュリティオペレーション技術WG（2008年6月発足）

最新の技術動向を調査し、最適なセキュリティオペレーション技術を探究し、技術者の交流を図ります。

WGリーダー

川口 洋　株式会社川口設計

成果物	最新技術レポート等（ISOG-J内限定）
検討テーマ	最新の技術動向を調査し、最適なセキュリティオペレーション技術を探究、技術者の交流を図る
リーダーの思い	セキュリティオペレーション技術者同士の交流を活発にします

© 2024 ISOG-J

各WG紹介(HPから)

【WG4】セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WG（2008年6月発足）

セキュリティオペレーションの必要性についての認知度向上を目的とし、普及啓発活動を行います。

WGリーダー

阿部 慎司　GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社

成果物	イベント活動・各種広報資料（パンフレット等）
検討テーマ	セキュリティオペレーションの必要性について認知度向上を目的とした普及啓発活動を行う
リーダーの思い	セキュリティオペレーションの認知向上のみならず、他の団体やユーザとの連携強化を検討し、その価値を高められるよう様々な活動を行っていきます。

【WG6】セキュリティオペレーション連携WG（2016年4月発足）

セキュリティの運用について各社共通の課題の議論、検討を行います。

WGリーダー

武井　滋紀　NTTテクノクロス株式会社

成果物	セキュリティ対応組織(SOC/CSIRT)の教科書 セキュリティ対応組織の強化に向けたサイバーセキュリティ情報共有「5W1H」 マネージドセキュリティサービス(MSS)選定ガイドライン Ver.2.0 その他、共通課題の議論や検討の結果の発表や報告書など
検討テーマ	セキュリティオペレーション事業者間の共通の課題の認識および、課題の対応や対処について検討を行い、必要に応じて成果物を外部への公開を行う
リーダーの思い	セキュリティの運用がサービスとして一般化し、各社が提供するサービス内容や求められるサービス内容が多様化しています。このWGにおいては、各社のセキュリティの運用上の共通課題を抽出、議論を行うことで課題解決に結びつけることを目的に活動します。

© 2024 ISOG-J

昨年度成果物

WG1

2023年4月、細かすぎるけど伝わってほしい脆弱性診断手法ドキュメント
2023年11月、Webアプリケーション脆弱性診断ガイドライン 第1.2.4版
2024年5月、脆弱性トリアージガイドライン作成の手引き

この後解説です！

WG6

2023年10月、セキュリティ対応組織の教科書 第3.1版

© 2024 ISOG-J

セキュリティ対応組織の教科書　第3.1版

- 2023-10-17公開
  - https://isog-j.org/output/2023/Textbook_soc-csirt_v3.html
- 第2.1版をITU-T勧告X.1060に合わせて改版したもの
- 執筆者
  - 早川 敦史, NECソリューションイノベータ株式会社
  - 武井 滋紀, NTTテクノクロス株式会社
  - 彦坂 孝広, NTTテクノクロス株式会社
  - 河島 君知, NTT データ先端技術株式会社
  - 阿部 慎司, GMO サイバーセキュリティ byイエラエ株式会社
  - 野尻 泰弘, NECソリューションイノベータ株式会社
  - 川田 孝紀, NTT セキュリティ・ジャパン株式会社
  - 本橋 孝祐, NTT セキュリティ・ジャパン株式会社
  - 角田 玄司,ネットワンシステムズ株式会社
  - 竹之内 一晃, パーソルクロステクノロジー株式会社
  - 青木 翔, 株式会社日立製作所
  - ISOG-J WG6 メンバー

予告！！
今年度の更新に向けて
議論を続けています！

© 2024 ISOG-J

・本資料の著作権は日本セキュリティオペレーション事業者協議会(以下、ISOG-J)に帰属します。
・引用については、著作権法で引用の目的上正当な範囲内で行われることを認めます。引用部分を明確にし、出典が明記されるなどです。
・なお、引用の範囲を超えると思われる場合もISOG-Jへご相談ください(info (at) isog-j.org　まで)。
・本文書に登場する会社名、製品、サービス名は、一般に各社の登録商標または商標です。®やTM、©マークは明記しておりません。
・ISOG-Jならびに執筆関係者は、このガイド文書にいかなる責任を負うものではありません。全ては自己責任にてご活用ください。

© 2024 ISOG-J